**工藤　寿久 （くどう・じゅきゅう）**

**１、プロフィール**

川柳作家。昭和31年川柳入門。弘前川柳社を中心に県内外で活躍。好作家として評価が高く、また弘前川柳社代表として多くの柳人を育成した。

＜生没＞

1930（昭和５）年１月28日～2001（平成13）年３月13日

＜代表作＞

川柳句集『津軽村』（1996年刊）

＜青森との関わり＞

弘前市に生れる。東目屋小学校教論の後会社員として県内勤務。退職後弘前市で商店経営。

**２、作家解説**

昭和５年弘前市に誕生。本名良三。昭和23年弘前商業学校卒。同年、東目屋小学校教論として１年間勤務。昭和25年から52年まで株式会社「吉崎商店」勤務。昭和57年より平成11年まで日用品卸業「かご平」経営。

昭和31年、宮本紗光の門を叩き川柳入門、師事する。昭和34年弘前川柳社同人。昭和43年青森県川柳社同人。昭和45年かもしか川柳社幹事。同幹事となってから幅広い川柳を吸収、杉野草兵等の研究句会「Cの会」に出席するなど作句研鑚に努力。昭和50年県川柳社理事。平成２年宮本紗光死去に伴い弘前川柳社代表、以後死去するまで務める。県内の川柳作家としての評価は高く、その作風は県外まで知られファンも多い。また、県柳人のひとつの目標ともされた。弘前川柳社代表、県川柳社理事として県柳界発展に尽力、多くの柳人を育成した。平成３年日本川柳協会理事、弘前文芸協会副代表。平成11年、句集『津軽村』にて第１回川柳句集文学賞準賞受賞。享年71歳。

**３、資料紹介**

〇『津軽村』

図書

1996（平成８）年

220㎜×150㎜

川柳句集。著者唯一の句集で、弘前川柳社創立60周年記念として出版された。膨大な作品の中から同人の協力により編集、著者の集大成といえる句集である。編集人岩淵黙人。発行人工藤寿久。